

ネットワークづくりであると  
考えています。

その基本になるものが、コ  
ミュニケーションであり、そ  
のきっかけになるものが日常  
のあいさつであると考え、毎  
年町政方針のサブタイトルに  
しているところです。

③資源循環型社会を形成する  
ためには、今後さらに排出の  
抑制と再資源化の役割分担が  
必要です。町民の皆さんの役  
割には、ごみになりにくい商  
品を購入するか、マイパツ  
クの特参など使い捨ての習慣  
を見直していただきたい。

業者の方には、包装の簡素  
化などに努め、消費者に理解  
されるように努力をし、自己  
の事務所や工場などからの発  
生量を抑制していただきたい  
と考えています。

行政の役割としては、率先  
してごみの排出抑制に努め、  
環境教育や啓発活動を通じて、  
住民や事務所の意識の高揚を  
図って行きたいと考えていま  
す。

## 自殺者対策の取 り組みは

篠原議員 国は平成18年10  
月に自殺者対策基本法を施行  
これを受けて北海道は平成20  
年11月に行動計画を策定して  
います。自殺者は平成10年か  
ら連続11年3万人を超える高  
い水準で推移していることか  
ら、政府は自殺対策100日プラ  
ンを発表し、3月は強化月間  
になっています。わが町での  
取り組みはどうなっているの  
か伺います。

## 相談支援、広報 啓発を継続し ていきたい

町長 平成21年10月に保  
健医療福祉分野、学識経験者、  
教育分野、警察、消防、労働  
産業団体、人権団体、自治体  
など31団体からなる北見保健  
所管内自殺対策連絡協議会が  
立ち上がり、状況の報告や意  
見交換が行われています。  
津別町においても残念なが  
ら毎年自殺者が出て、いること  
から、関係団体と連携しなが  
ら相談支援業務、広報啓発を  
継続し、町としてできる限り  
の対策を行っていきたい。

## Q 鹿害対策の今後のあり方は

A 今年度から3年間国の補助制度で行いたい



谷川議員 農作物の食害対

策の再整備について伺います。  
①再整備調査結果の概要  
②被害防止計画の策定  
③現状の主な被害地区と被害  
額  
④第一次整備の効果と課題  
⑤農家希望と受益者合意  
⑥事業計画の現状と方策等の  
あらまし。

町長 ①全町的な整備要  
望量は総延長が55キロメート  
ル、概算事業費は2億6千万  
円の試算です。

②国の鳥獣被害防止総合対策  
交付金を活用するため防止計  
画と対策協議会を設置します。  
③被害は全町に広がっており、  
被害額は平成17年17万、177万

円、平成20年55万、1千543万  
円で年々増加傾向にあります。  
④前回整備で被害面積、被害  
額とも大幅に減少しましたが、  
河川、道路からの侵入や柵内  
残留鹿の繁殖が課題です。  
⑤今回は前回の補完で大半が  
部分設置の見込みで、農家合  
意が得られない地区について  
は実施が困難です。

⑥農家要望箇所を効率的に実  
施します。国費補助率は55%  
で、事業期間は22年度から24  
年度の3か年計画で実施予定  
です。柵高は2.5mから1.8mを  
含め検討中です。

地元負担は補助残の45%で  
1億1千700万円、町と農協、  
農家の三者で分担となります  
が、町負担については特別交  
付税で8割が措置されますの  
で、これを勘案して負担割合  
を検討していきます。



## 相生物産館を障 害者に優しい施 設にすべき

谷川議員 障害者の外出意  
欲と気分転換を促すため健常  
者が気づかない障害者の目線  
に立った施設改善を図られた  
い。

①身障者駐車場に直結した乗  
降場所に車いす用スロープの  
新設。  
②身障者トイレに温風タオル  
の設置。

## スロープの改 善を検討、温風 タオルは設置

町長 ①現在奥側に身障  
者スロープがありますが、不  
便であれば改修可能な範囲で



進めていき  
たいと思っ  
ます。

②今後車い  
すの方の使  
用を前提に  
温風タオル  
の高さを考  
慮して設置  
したいと考  
えています。



## 外郭団体等への 町、民間定年者 の再雇用は

谷川議員 近年町職員も定  
数減で人員配置不足が苦慮さ  
れ、また定年退職者は年金支  
給が一定年齢まで一部支給の  
延長が現実となり、生活が大  
変な時代を迎えつつあります。  
外郭的な職場の条件を新たな  
ルールづくりを含めて逐次整  
備を図りながら、有為で経験  
豊富な即戦力の人材を積極的  
に活用し町との連携とあわせ  
てパイプづくりに役立てるべ  
く検討してはどうか。

また、民間人材の活用もあ  
わせて十分考慮されたい。想  
定される団体等への官民合わ

せた再雇用の門戸を開くべき  
ではないか。  
再雇用等の期間は、年金受  
給と符合させ2年から5年の  
範囲で後進に道を譲る方法を  
検討し適材適所とする方策は  
どうか。

## 今後経験豊富な 官民人材の活用 を検討したい

町長 今後数年続く職員  
の大量退職により組織の運営  
において住民サービスに大き  
く影響しないように業務のノ  
ウハウや技術の伝承の面から  
再任用等について引き続き検  
討していきたい。

また、外郭団体に職員OB  
の雇用の受け皿をつくり、町  
との連携による業務のスムー  
ズな運営については、組織運  
営を踏まえ実現の可能性を含  
めて今後関係者と相談させて  
いただきます。

また町内企業で退職された  
知識技術経験豊かな方も含め  
再雇用の対象者として検討し  
年金受給も踏まえて、町民の  
方の理解を得られる範囲で検  
討を進めていきます。

## Q 町長は2期目を目指すのか

A そう遠くないうちにご報告したい



山内議員 任期満了を12月  
に迎える町長は、任期も残す  
ところ約9か月となったが、  
2期目を目指すのかどうか伺  
いたい。

町長 そんなに急がない  
でもいいのではないかと。整理  
する時間もないかと。ご支  
援をいただいた方たちにご相  
談を申し上げ、しかるべきと  
きにご報告をさせていただきます。

## 6次産業化で農 業の活性化を図 るべきでないか

山内議員 町政方針でも述  
べているが6次産業化の検討  
は、これからの農業活性化を  
図るうえで重要な政策である  
と考える。この6次産業化に  
より新たな企業家が育つよう  
に進めてはどうか。

## 地場産業活性 化協議会を設 立し取り組み たい

町長 1次・2次・3次  
産業をすべて掛け合わせて6  
次産業という定式化をし、全  
国の農村に呼びかけてしまっ  
た運動である。

今後地域における多様な産  
業がお互いに連携し農畜産物  
等の加工開発、販売場、レス  
トランなど付加価値向上と販  
路拡大にむけた取り組みが活  
発化していくものと考えてい  
ます。このため津別町地場産  
業活性化協議会を設立し、町

を上げて地場産品のブラン  
ド化へ取り組みたい。

## スポーツ合宿事 業を教育にいか してはどうか

山内議員 地域活性化と交  
流人口を図る目的で平成10年  
からスポーツ合宿を始めてい  
る。このスポーツ合宿を通じ  
て町内の児童、生徒への真の  
スポーツと触れ合っており教





育効果が出せるよう考えるべきではないか。また、スポーツ・芸術は大事な教育の一環であり、生きる力を育み、豊かな人生や、将来の人づくり、地域づくりにつながると考える。この取り組みをすべしと思うが伺いたい。

## 人間形成に重要である

**教育長** スポーツ合宿の厳しい練習風景や練習試合を見ることにより、多感な子どもたちに与える影響は非常に大きい。学校や子ども会組織、少年団の指導者にも働きかけたい。また、多くの町民の皆さまにもPRして、是非観戦をしてもらえらるよう検討したい。



## Q 人事評価制度の導入をどう考えているのか

A 十分検討し実施に向けて進めていきたい



**町長** 職員が大量退職することでもマンパワーの低下と失われていくことを危惧している。

特に今後この5年間で管理職が8割退職すること、より少数精鋭での業務の推進と職員の総戦力化が必要であるので、人事管理においてはポ

ストの交代と人材育成を含め行政運営に支障のないように執行していきたい。目標管理制度は組織力の向上、事務の効率化、事務処理ミスの防止などの点から不可欠であるので、特に人事評価制度と連動させていくよう職場内で十分研究、検討し実施に向けて取り進めていく。

指定管理者制度の目的は公の施設におけるサービス向上と管理経費の削減を図るため、導入を検討していない他の施設の検証を行いながら活用が拡大に取り組み、民間委託については受け皿の問題もあるが十分検討していきたい。



## 平成21年度予算補正

会計別	今回補正額	予算総額
一般会計	796万9千円	58億6,718万9千円
国保会計	△87万4千円	9億2,251万7千円
老人保健会計	△488万8千円	303万1千円
後期高齢者医療会計	△475万円	7,248万3千円
介護サービス会計	55万4千円	2億7,300万5千円
下水道事業会計	△216万3千円	6億7,108万2千円
簡易水道会計	△33万5千円	6,198万3千円

### 補正された主な内容

#### 〈一般会計〉

- 森の健康館管理業務 2,608万円  
照明改修、電話交換機システム設置  
個室風呂新設
- 地域振興基金積立金 3,000万円
- ふるさと定住促進事業 △600万円
- 21世紀北の森づくり推進事業 △655万円

#### 〈国保会計〉

- 保険給付費 △100万円

#### 〈老人保健会計〉

- 医療諸費 △488万円

#### 〈後期高齢者医療会計〉

- 広域連合納付金 △486万円

(△は予算に対する減額を示します。)